

平成 25 年度泉区自主企画事業
評 価 報 告 書

平成 25 年 12 月 5 日

泉区地域協議会

泉区地域協議会における事業評価は、区民意見の尊重と施策への反映を目的として、泉区役所の自主企画事業について、区民目線で評価するものです。

区役所にとっては、区民の率直な意見を聴くことのできる貴重な機会であるとともに、区民による評価だからこそ得られる「気づき」にもつながります。また、区民にとっては、区民意見が施策へ反映されることで、区政への参画意識も高まります。

今年度の事業評価は、委員の意見を踏まえながら、「地域まちづくり」、「水・緑環境保全」、「環境美化」、「防災」、「交通安全」、「文化」、「青少年健全育成」、「子育て支援」、「高齢者」、「健康づくり」といった、幅広い分野の事業を評価の対象としました。

評価を行っていくうえでも、その質の向上を目指し、事業評価の役割、意義などについて、地域協議会委員全員が充分認識しながら、引き続き取り組んでいます。

これまでの6回にわたる事業評価部会では、区役所関係課とのヒアリング、委員間の意見交換の中で、活発な議論・検討が行われ、今回地域協議会としての事業評価報告書を取りまとめることができました。

今年度の評価対象事業全体の評価としては、地域課題を踏まえた必要性の高い事業や、成果が上がっているなど良好な事業が多かったと考えていますが、事業の見直しにおいて課題のある事業、長期的に見守っていくべき事業も見受けられました。

また、地域と協働で事業を進めていくうえで、担い手の確保が求められている状況がこの事業評価でも明らかとなっています。

今回の評価結果を受けて、提言・提案、あるいは評価の過程において見えてきた課題が、次年度以降の事業に反映されていくことを期待します。

平成 25 年 12 月 5 日

泉区地域協議会 会長 北原 勉

目 次

1	平成 25 年度事業評価について	1
	(1) 評価対象事業	
	(2) 評価項目	
	(3) 評価の仕方	
	(4) 重点事業評価書作成の考え方	
	(5) グループ編成と担当する評価対象事業	
	(6) スケジュール	
2	平成 25 年度事業評価報告書	
	(1) 自転車等放置防止事業	5
	(2) 青少年を育むまちづくり事業	7
	(3) 健康長寿推進事業	9
	(4) 防災対策事業	11
	(5) 農を生かしたまちづくり事業	13
	(6) いずみ文化支援事業	15
	(7) 水・緑・みち魅力づくり事業	17
	(8) ごみ減量化推進事業	19
	(9) 健康づくり活動支援事業	21
	(10) 健やかいずみっこ子育て支援事業	23
	(11) 交通安全対策事業	25
	(12) 素晴らしき 1 km 構想推進事業	27

1 平成 25 年度事業評価について

(1) 評価対象事業

評価対象事業の選定については、協議会委員によるアンケートを実施し、区民目線での意見を反映することとしました。希望の多かった事業を選定しつつ、事務的経費を中心とした事業を除き、泉区自主企画事業のうち、次の 12 事業を選定しました。

- ・ 自転車等放置防止事業
- ・ 青少年を育むまちづくり事業
- ・ 健康長寿推進事業
- ・ 防災対策事業
- ・ 農を生かしたまちづくり事業
- ・ いずみ文化支援事業
- ・ 水・緑・みち魅力づくり事業
- ・ ごみ減量化推進事業
- ・ 健康づくり活動支援事業
- ・ 健やかいずみっこ子育て支援事業
- ・ 交通安全対策事業
- ・ 素晴らしき 1 k m 構想推進事業

(2) 評価項目

(ア) 事業の必要性

事業の目的が地域や区民が求めている方向性に対応しているか。

(イ) 事業の進め方

事業の進め方が効果的な手法となっているか。また、進捗管理は適切に行われているか。

(ウ) 事業の達成度

事業の目的がどの程度達成されているか。また、達成される見込みであるか。

(エ) 事業の投資効果

事業の経費は、区民感覚から見て、効果に見合ったものとなっているか。

(オ) 事業の成果

事業は、地域や区民のニーズを満たす効果をもたらしているか。

(カ) 事業の将来像

事業は、長期的に見て、地域や区民から期待の持てるものか。

(3) 評価の仕方

(ア) 聞き取り（ヒアリング）による調査

(イ) 資料による調査

(4) 事業評価報告書作成の考え方

事業評価報告書は、事業概要、主な事業構成のほか、総合評価及び提言・提案について記載しました。提言・提案については、より重要と思われるものから順に並べました。

(5) グループ編成

活発な議論を生み出し、より質の高い評価を行うため、事業数を前年度同様 12 事業に絞り込むとともに、グループ数についても同様に 4 グループの編成としました。グループ編成と各グループの担当事業は次の表のとおりです。

Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
○稗田 茂磨 小泉 正彦 黒澤 彦章 (副部長) 谷村 勝彦 本間 賢二 飯島 猛旦	○菊川 久義 長谷川 幹夫 渡邊 明 小森谷 克己 栗原 正行 衛藤 隆知	○八木 勇喜 横川 満 立平 チエ子 佐藤 忠栄 小松 秋人 佐々木 弘美	○成澤 誠 北原 勉 (部長) 村山 節子 馬場 勝己 佐野 瞳 馬場 知和
自転車等放置防止事業 (地域振興課)	防災対策事業 (総務課)	水・緑・みち魅力づくり 事業 (泉土木事務所、区 政推進課)	健やかいずみっこ子 育て支援事業 (こども家庭支援課)
青少年を育むまちづくり 事業 (地域振興課)	農を生かしたまちづく り事業 (区政推進課)	ごみ減量化推進事業 (地域振興課)	交通安全対策事業 (地域振興課)
健康長寿推進事業 (高齢・障害支援課)	いずみ文化支援事業 (地域振興課)	健康づくり活動支援事 業 (福祉保健課)	素晴らしき 1 Km 構想 推進事業 (区政推進課)

○グループリーダー

(6) スケジュール

評価関連の作業は、次の日程で実施しました。

回数	日程	会議種別	内容
第1回 定例会	8月29日(木) 18:00～	部会	事業計画書の読み方、グループリーダーの選出、対象事業の概要説明、意見交換
第2回 定例会	9月12日(木) 18:00～	定例会	事業評価の進め方について (「事業評価の手引き」の確認、事業評価部会スケジュール、対象事業ヒアリングスケジュール)
	9月26日(木) 18:00～	部会	対象事業ヒアリング1・グループ検討
	10月3日(木) 18:00～	部会	対象事業ヒアリング2・グループ検討
	10月10日(木) 18:00～	部会	対象事業ヒアリング3・グループ検討
	10月24日(木) 18:00～	部会	事業評価報告書素案のとりまとめ・グループ検討
第3回 定例会	11月7日(木) 18:00～	定例会	事業評価検討状況報告・意見交換
	11月21日(木) 18:00～	部会	事業評価報告書最終案のとりまとめ・グループ検討
	12月5日(木) 18:00～	部会	事業評価報告書最終確認
	12月5日(木) 18:30～	定例会	事業評価報告書の提出

1 事業名：自転車等放置防止事業【地域振興課】

予算額：445 千円（前年度 445 千円）

事業開始年度：平成 17 年度

【事業概要】

自転車等放置防止に向けて、区内 8 つの自転車等放置防止推進協議会が行う、マナー向上、駐輪場利用促進等の啓発活動を支援します。

【主な事業構成】

- ・区内 9 駅 8 協議会に対する補助金の交付（予算額：400 千円）
- ・区内一斉啓発キャンペーン活動の実施、各駅協議会代表者会議の実施、鉄道事業者・駅周辺店舗等への協力依頼ほか（予算額：45 千円）

【総合評価】

放置自転車の除去により、歩道・車道の安全性が確保され、災害時の円滑な避難にもつながることから住民のニーズに対応しており、また、事業実施に伴い放置自転車数が年々減少していることから、事業の成果は良好と評価できます。

今後、省エネルギーの観点から自転車利用者の増加が見込まれるので、本事業が引き続き継続することを期待します。

【提言・提案】

- 1 各自転車等放置防止推進協議会による啓発活動は、地域の自主性に委ねられていますが、区から必要に応じ活動提案、助言があれば、より効果的な事業実施に結びつくものと考えます。
- 2 各協議会の活動は、駅周辺の状況によって差異がありますが、協議会活動の参考に資するため、情報交換の場の設定について検討すべきです。
- 3 本事業は、交通安全、防犯、地域清掃などの地域活動と連携して活動することにより、効果的な啓発につながることを期待されることから、所要の方策について検討すべきです。
- 4 区内各駅周辺の市営駐輪場の位置が、地域住民に十分に周知されていないと思われるので、地域における PR を強化する必要があります。また、今後の駐輪場整備に併せ、利用促進の方策を検討することを関係先に求めて頂きたい。
- 5 道路上に、「駐輪禁止」、「災害時のインフラ道路」等のペイント表示がなされると、自転車放置者をはじめ、区民への啓発につながるものと考えられます。

2 事業名：青少年を育むまちづくり事業【地域振興課】

予算額：1,380千円（前年度1,236千円）

事業開始年度：平成17年度

【事業概要】

青少年が、他の青少年や大人たちと触れ合い、また地域のことを学ぶことによって、泉区にふるさと意識を持ち、将来を担っていく人材に育つまちづくりを進めます。

【主な事業構成】

- ・ 青少年の居場所づくり事業（地区センターなど区内5方面単位）（予算額：950千円）
- ・ 泉っこ育成プログラム（小学校単位）（予算額：230千円）
- ・ 地域連携青少年育成事業（新規補助事業）（予算額：200千円）

【総合評価】

青少年の健全育成や地域での将来の担い手育成は、地域の重要な課題ですが、本事業は、地域、学校の協力を得ながら取り組まれ、相当程度の事業成果が上がっていることから、全体として良好と評価します。

【提言・提案】

- 1 将来に向けた地域の担い手育成は、短期的にその効果を計測することは難しく、学校、地域組織との連携や、保護者をはじめとする地域住民の理解や参加を勧奨するための事業PR等に配慮しながら、長期的に継続実施する必要があります。
- 2 本事業はいずれも小学生を対象としていますが、子どもたちを世話する中学生ボランティアの参加を得ており、こうした中学生の参加を活性化させるためにも、参加後の感想などをアンケート調査して、モチベーションを高める方策を検討すべきです。
- 3 小学校が中心となり、区内7校で実施されている「泉っこ育成プログラム」は、自分たちの地域を調査して発表するなど、子どもたちが地域への関心を高めるための取り組みがなされています。ゆとり教育の見直しなどの影響にかかわらず実施校を増やし、内容を充実して継続するとともに、地域を主体とした文化・風習の学習などに重点を置くこと等について検討すべきです。
- 4 行政側からは、学校、地域組織の連携・取り組みが強まり、地域に浸透していくような働きかけを継続する必要があります。
- 5 新規補助事業の地域連携青少年育成事業では、将来の担い手育成が緊急の課題であり、青少年の社会参加を強力的に推進する必要があります。

3 事業名：健康長寿推進事業【高齢・障害支援課】

予算額：1,328 千円（25 年度新規事業）

事業開始年度：平成 25 年度

【事業概要】

高齢者がいつまでもいきいきと自分らしく過ごすことができるよう、様々な関係機関や地域とともに、介護予防、認知症の予防や理解と支援、地域づくり等を総合的に推進します。

【主な事業構成】

- ・健康長寿活動支援（出前講座等）（予算額：550 千円）
- ・健康長寿普及啓発（健康づくりフェア・講演会）（予算額：483 千円）
- ・地域人材育成（脳若返り隊等）（予算額：295 千円）

【総合評価】

健康長寿の重要性が区民に広く認識され、講演会等の啓発事業、出前講座や脳若返り隊の育成等、地域支援が計画に沿って実施されており、事業内容は妥当なものと評価します。

今後、事業内容を弾力的に適時、見直しを行うことにより、事業を推進することが望まれます。

【提言・提案】

- 1 健康長寿に関する講演会や講座には多数の方が出席していますが、今後とも住民が魅力を感じる「テーマ」、「講師」を選定する必要があります。
- 2 介護予防に関する講習を受講して地域での活動が期待される「脳若返り隊」は、区内で270名以上に達していますが、今後、地域の核となって活動できる人材に育てるため、技術、知識の向上を図る方策を検討すべきです。
- 3 高齢者に多くみられる病状が若い世代にも生じており、当該世代の生活習慣の指導や啓発の機会を増やすことを検討すべきです
また、関係課と連携して、若い世代からの介護予防に取り組む必要があります。
- 4 国や市レベルでも、地域を対象とした介護予防に関する事業が実施されていることから、当該事業と連携し、一貫性のある事業を企画する必要があります。

4 事業名：防災対策事業【総務課】

予算額：1,927 千円（前年度 2,200 千円）

事業開始年度：平成 6 年度

【事業概要】

防災力の向上を図るため、防災資機材の整備や災害情報の提供、防災関係機関等との会議を開催します。

防災意識の高揚を図り、災害対応能力を向上させるため、防災訓練や防災関連啓発の実施、地域防災拠点功労者の表彰、災害対策本部の強化を行います。

【主な事業構成】

- ・ 防災関連啓発事業（予算額：657 千円）
- ・ 防災資機材整備事業（予算額：560 千円）
- ・ 泉区防災訓練事業（予算額：124 千円）
- ・ その他事業（予算額：586 千円）

【総合評価】

東日本大震災以後、防災訓練などによる日頃からの備え、災害発生時の的確な情報発信などが重要となっています。十分な防災対策が求められる中、限られた予算の中で効果的に事業を進めていることや、前年度の提言も踏まえた見直しも行われており、良好と評価します。

今後も、予測できない災害に対して備えるために、引き続きニーズをきめ細かく把握しながら、継続的に防災意識の浸透を図っていくことが重要と考えます。

【提言・提案】

- 1 地域防災拠点において資機材取扱訓練の指導を行うライセンスリーダーの派遣実績は、24 年度で 6 拠点となっています。災害時の資機材の取扱いを円滑に行うためにも、ライセンスリーダーによる指導を積極的に行っていく必要があります。
- 2 災害発生時には、ボランティアによる支援が重要です。現在、ボランティアの配置を調整するボランティア連絡会が組織されていますが、区民の認知度がまだ低いと思われるので、連絡会の活動などについて広報を行っていく必要があります。
- 3 地域防災拠点での訓練について、25 年度に訓練マニュアルを整備していますが、各拠点でより効果的な訓練が実施できるよう、引き続き他の拠点見学や、区の訓練指導により、さらに効果的なものとしていく必要があります。
- 4 地域防災拠点の発電機について、年 1 回の点検を行っています。災害時に確実に稼働させるためには、2～3 か月に 1 回は稼働させることが必要です。頻繁に稼働することで、修繕も少なくなると考えられるので、拠点で使用しない時に、地域に貸し出すなどの検討が必要です。

- 5 東日本大震災から3年近くが経過し、このときの経験や教訓が薄まっていくことが危惧されます。災害が発生した時に、自分の身を守る自助意識の向上は重要なことであり、各家庭への啓発活動を一層強力に推進することが必要です。
- 6 災害発生時に設置される区の災害対策本部は、情報の受伝達や関係機関との連携などによる災害対応の要となっています。いざというときに、この本部が円滑に機能できるよう、携わる職員の能力向上を図ることが必要です。
- 7 新たに見直しが行われた被害想定では、区内の焼失棟数が、木造住宅密集地域などにおいて、これまでの約18倍と見込まれています。この中で、延焼防止対策として軽可搬ポンプを導入することは効果があると思われますので、この取組を推進していくことが必要です。

5 事業名：農を生かしたまちづくり事業【区政推進課】

予算額：3,369 千円（前年度 4,759 千円）

事業開始年度：平成 21 年度

【事業概要】

泉区の地域資源である「農」を守り、支えるため、「農」の魅力発信や地産地消を推進するとともに、区民が「農」に対する理解を深め、「農」の活動に関わっていくための情報提供やコーディネートを進めます。

【主な事業構成】

- ・農産物を生かしたまちづくり事業（予算額：2,714 千円）
- ・泉区農のコーディネート事業（予算額：655 千円）

【総合評価】

区の地域資源である「農」の魅力発信や、地産地消の推進は必要であり、重要な課題です。本事業は、そういった方向性を踏まえていること、情報発信、農業応援隊への支援も効果を上げていると思われることから良好と評価しますが、ファーマーズマーケット「ハマッ子」の運営については、経費負担のあり方が改善されておらず、引き続きの検討課題として残っています。

今後も、農に関する情報発信や支援について、区民意識調査結果などにより、ニーズを的確に把握しながら事業を進めていくことが重要と考えます。

【提言・提案】

- 「ハマッ子」の運営では、建物のリース費用が開設以来 6 年間で 20,593 千円を区役所が負担しています。JA は運営により利益を得ていることから、リース代を区が負担しているのは疑問であり、運営方法の見直しが必要です。
- 「ハマッ子」の運営の中で、障がい者福祉の推進を目的に、現在 2 つの福祉団体が物品販売を行っています。障がい者の参画機会を広げていくためにも、物品を販売する団体の数を増やしていくことが必要です。
- 「農を生かしたまちづくり」は、将来的にも継続して進めていくべきですが、農地を取り巻く地域状況は年々変化しており、今後策定を進めていく「都市計画マスタープラン泉区プラン」の中で、泉区の特徴の一つである農地の維持・保全など、土地利用のあり方について反映していく必要があります。
- 泉区農業応援隊では、泉区内 461 戸の農家に対し、33 戸が支援対象となっています。農の担い手の不足で悩む農家は多いと思われるので、現行の 38 人の応援隊員をさらに増やしていくことが必要です。

- 5 農への関心を高める方策として、子どものころから農にふれあうことが、子どもたちにとって貴重な体験となります。日頃から子どもたちに、農を体験できる機会を設けることで、農は楽しいものとの意識付けを行っていく必要があります。
- 6 現行でも、広報紙やホームページなどで、農に関する情報発信を行っていますが、「農を守る・支える」、「農の魅力」、「地産地消の推進」、「農に対する理解向上」、「農の活動」などについて、目で見てわかりやすい形で、区民全体に浸透させていく必要があります。
- 7 25年度はスタンプラリーを実施し、区内の農家が設置している直売所のPRを行っています。直売所は、身近なところで区内の農産物を手に入れることができる、地産地消の推進に重要な存在であり、直売所への支援を充実させる必要があります。

6 事業名：いずみ文化支援事業【地域振興課】

予算額：3,345 千円（前年度 3,520 千円）

事業開始年度：平成 6 年度

【事業概要】

区民文化団体等による作品等の展示・発表・交流の場を提供するため、区民文化祭、区民ホール事業等を実施するとともに、地域に関わる伝統文化（いずみ歌舞伎、太鼓・お囃子、相模凧）の保存・普及・継承の支援を行います。

【主な事業構成】

- ・いずみ伝統文化保存事業（予算額：1,800 千円）
- ・文化支援事業（予算額：790 千円）
- ・いずみ歌舞伎普及継承事業（予算額：740 千円）
- ・その他事業費（予算額：15 千円）

【総合評価】

文化の振興や伝統文化の保存は、重要な課題であり、将来的にも継続していくべきと考えます。現状では、活動の場の提供などを含め、各団体を適切に支援できていることから、良好と評価します。伝統文化の継承は時間を要するものであり、担い手の育成も含め、引き続き区民の関心が高められるような事業としていくことが重要と考えます。

【提言・提案】

- 1 伝統文化を守るため、事業の継続は必要と思いますが、これらの文化を継承していく後継者・担い手づくりが課題となっています。後継者・担い手づくりには時間がかかるものであり、こういった課題に対応できるよう事業を進めていく必要があります。
- 2 いずみ歌舞伎・太鼓お囃子・相模凧は、いずれも泉区に伝わる伝統文化であり、保存・継承への支援が重要となっています。このため、それぞれの保存会に対して、必要な支援を継続していく必要があります。
- 3 泉区文化振興委員会が行う文化祭、発表会、展示会等文化活動への場所の提供支援（文化センター、公会堂、区民ホール）は、活動の活性化にとって大変重要です。今後とも、場の提供による支援を行っていく必要があります。
- 4 78 団体、9 個人が参加する文化振興委員会の活動は、様々な文化活動の発表、交流等を通じて、文化意識の向上などが図られています。一方で、参加団体の減少の傾向が見受けられることもあり、新たな参加団体等について積極的に働きかけ、活動の活性化を図る必要があります。
- 5 文化の振興、伝統文化の保存等に対して、地域性や、住民層・年齢層等によって関心の度合いは違っていると思われます。区民の文化意識の向上、世代を超えた文化交流の活性化を図るため、広報の充実などにより、多くの区民の理解を得ていく必要があります。

7 事業名：水・緑・みち魅力づくり事業【泉土木事務所・区政推進課】

予算額：3,252 千円（前年度 3,030 千円）

事業開始年度：平成 19 年度

【事業概要】

泉区の歴史と文化を育んできた河川や緑環境を、地域団体などと連携して地域資源として活用することにより、泉区の自然環境の特性に対応した魅力づくりを進めていきます。

【主な事業構成】

- ・和泉川魅力づくり事業（予算額：1,100 千円）
- ・いずみ・田園ルネッサンス構想（予算額：1,000 千円）
- ・緑啓発事業（予算額：552 千円）
- ・その他事業費（予算額：600 千円）

【総合評価】

本事業は、自然豊かな泉区の特性に対応した区民ニーズに合致した事業であり、事業の達成度からも、良好と評価できます。ただ、区民への浸透度は十分とは言えないため、効果的にPRすることにより、浸透させる必要があります。

また、地域住民との連携、協働が不可欠な事業であり、区役所の取組姿勢が事業の成果及び実施効果につながるため、区役所の積極的な姿勢を期待します。

【提言・提案】

- 1 和泉川・村岡川魅力づくり事業については、水や緑が豊かな泉区の将来像がイメージできるように、写真等を活用した視覚に訴えた資料を作成し、PRすることが必要です。
- 2 村岡川の魅力づくりについては、ホタル育成に取り組んでいた団体の話を聞いたり、近隣の学校と連携するなど、工夫した取組を検討してください。
- 3 阿久和川の魅力発信が弱いので、和泉川、村岡川の魅力づくりだけでなく、阿久和川の魅力づくりに取り組むことを検討してください。
- 4 いずみ・田園ルネッサンス構想については、2か年かけて調査検討費を計上していますので、調査内容を活かして、短期・中期・長期的な構想を作成することを検討してください。
- 5 いずみ・田園ルネッサンス構想については、実態調査で収集した地域の魅力資源について、ホームページで発信するだけでなく、マップの作成や将来像がイメージできる視覚に訴えた資料作成など、幅広い発信手段で広く周知する方法を検討してください。
- 6 和泉川の下流は水が濁っているように見えます。外観上の汚濁が改善されれば、水と緑の泉区の魅力がさらに向上するので、水質の改善に取り組むことを検討してください。

7 ハマロードサポーターへの飲料水による活動支援は、大変良い取組です。今後、サポート隊への草刈りや植栽環境の維持に必要な物品等がスムーズに提供されるシステムづくりを進める必要があります。

8 緑のじゅうたんは、全体的に面積が狭く効果が少ないと思われます。また、維持管理については、地区経営委員会などへの管理委託をしている学校とそれ以外の方法で管理している学校との差が生じないようにする必要があります。

8 事業名：ごみ減量化推進事業【地域振興課】

予算額：3,358千円（前年度3,326千円）

事業開始年度：平成23年度

【事業概要】

次の世代へ良質な都市環境を引き継ぐために、区民や事業者との協働により、ごみの減量化を推進します。また、清潔で美しい街ヨコハマを実現するために、「横浜市空き缶等及び吸殻等の散乱の防止等に関する条例」に規定する美化推進重点地区を中心に、定期清掃及び啓発活動を実施します。

【主な事業構成】

- ・ごみ減量化活動支援事業（予算額：2,484千円）
- ・クリーンタウン事業（予算額：874千円）
- ・子ども安全対策（予算額：339千円）
- ・その他事業費（予算額：221千円）

【総合評価】

本事業は、ごみの減量化を通じて良質な都市環境を次世代に引き継いでいくための事業であり、区民ニーズに対応しています。また、ごみの分別、減量化は多くの区民に浸透しており、良好と評価できます。

今後は、ヨコハマ3R夢プランを着実に推進する中で、生ごみの水切り、剪定枝の乾燥などに関して、地域住民への啓発活動に注力することで、さらなる徹底が図られることを期待します。

【提言・提案】

- 1 ごみの分別をさらに徹底することが求められますが、プラスチックの扱いがわかりにくい状況です。パック飲料の使用済みのストローなど、特に分別に悩むものをわかりやすく伝えられるようにすべきです。
- 2 ごみの減量化をさらに進めるためには、水分を減らすことが欠かせないので、水切りや剪定枝の乾燥などの重要性をわかりやすく伝えるとともに、水切りネットや水切り棒などのグッズの啓発を強化する必要があります。
- 3 空き缶、ポイ捨てが多く、街の美観を損ねることになりますので、美化推進員を増やし、街の美観向上に取り組むべきです。また、美化推進重点区域のエリアを拡げること検討してください。
- 4 大人だけでなく、子どもたちにごみ減量化に関する理解を深めてもらう機会になりますので、個人や事業者等を対象としたごみ減量化に関する成果発表会を実施し、表彰することを検討してください。

- 5 ごみの減量や環境美化のための実践・普及啓発活動については、地区センター、コミュニティハウスなどでの行事においても、これまで以上に実施することを検討してください。
- 6 コンポストを使ったごみの排出量の削減、自然への還元を体感できるイベントや土壌混合法の講習会の回数を増やすなど、環境に配慮した取組をもっと充実させる必要があります。
- 7 水切りネットの啓発などは効果的ですが、公共施設など身近な所から取り組んでいくことが必要です。

9 事業名：健康づくり活動支援事業【福祉保健課】

予算額：3,109千円（前年度3,289千円）

事業開始年度：平成17年度

【事業概要】

運動習慣の定着、食習慣の改善を目的に、地域活動をしているグループと連携して健康づくりの啓発を行うとともに、活動の中での仲間づくりを通して地域の活性化を図ります。また、健康についての正しい情報の提供や啓発事業を実施し、区民一人ひとりの健康づくりに寄与します。

【主な事業構成】

- ・運動習慣づくり（予算額：1,056千円）
- ・食習慣の改善（予算額：620千円）
- ・乳がん予防事業（予算額：602千円）
- ・その他事業費（予算額：831千円）

【総合評価】

本事業は、近年の健康志向の高まりが示すとおり、区民ニーズに対応した事業で、長期的な視点で継続的に取り組んでいく必要があります。運動習慣の定着、高齢者の地域行事への参加などに成功するとともに、地域住民に浸透しており、良好と評価できます。

ただ、他の区に比して健康に関するデータが思わしくないものがあるとともに、事業の成果が把握しにくい取組もあり、より一層工夫されることで事業の成果につなげてもらうことを期待します。

【提言・提案】

- 1 泉区は、3歳児のスポーツドリンク摂取率、3歳児同居家族の喫煙率、1歳6か月児の虫歯罹患率が市内最多となっているとともに、横浜市国民健康保険の特定健診の受診率、がん検診の受診率も平均を下回っていますので、背景を丁寧に分析した上で対策を立て、多世代において改善していくべきです。
- 2 健康に関する講演会において、食の安全や体力づくりについて取り上げられることが多いですが、喫煙及び受動喫煙のがんになる確率のデータについて取り上げられることは少ないので、もっと取り入れた方が良いと思われます。
- 3 健康に関する総合的な窓口は、区役所内の区民の目につきやすい場所に設置し、総合的な相談、案内を担うことを検討してください。
- 4 健康にかかわる事業が複数あるので、各事業の相関を区民にわかりやすく周知するとともに、関連部署の連携を強化する必要があります。
- 5 子どもたちの健やかな成長のためには、食習慣が非常に重要であることを保護者に理解させる必要がありますので、保護者への啓発を強化する方法を検討してください。

- 6 健康づくりに関する取組は、いずれも重要ですが、アフターフォローが弱いと感じますので、禁煙などのイベントに参加した方のその後の状況を確認できる仕組みを検討してください。
- 7 健康づくり情報コーナーは、資料、展示物が充実してきていますが、基準や目安などの掲示により活用が促進されますので、検討をお願いします。
- 8 健康づくり情報コーナーは、初期投資が終了して予算が減りましたが、人員配置等も考えて今後の充実を図ってください。

10 事業名：健やかいずみっこ子育て支援事業【こども家庭支援課】

予算額：4,940 千円（前年度 4,849 千円）

事業開始年度：平成 21 年度

【事業概要】

妊娠中から就学前まで、地域と協働で健やかな子育てができるよう支援します。

【事業構成】

- ・ 区役所利用者一時託児事業（予算額：3,870 千円）
- ・ パパ・ママ子育て支援事業（予算額：892 千円）
- ・ 子育てネットワーク支援事業（予算額：178 千円）

【総合評価】

子育てネットワーク支援事業、パパ・ママ子育て支援事業については、いずれの事業も、子どもの健全育成や、幼児虐待・子育て放棄防止等にとって大切な事業です。

特に、初めての子育て家庭にとっては、子育ての不安やストレス等を解消するための不可欠な事業として、良好なものと評価できます。

しかしながら、区役所利用者一時託児事業については、いくつか課題が残る部分が見受けられます。

【提言・提案】

1 区役所利用者一時託児事業に係る課題

(1) 利用時間は、原則 2 時間以内となっていますが、複数の窓口にも用事があった場合でも、最大 2 時間の利用時間は長いものと考えられます。

(2) 利用受付表に利用予定時間の記入欄があり、保育カードにもサインはありますが、迎え時間の記入がありません。

利用時間の集計に向け、迎え時間の記入欄を設け、集計を行う必要等があります。

(3) 一時託児の人数は 5 名と条件を付していますが、利用申し込みに対応して、無条件で受け入れる必要があると思われます。

また、現状では利用者数が少なく感じられますので、これを解消するため、有料化等の適正な受益者負担の導入を検討する必要があります。

(4) 一時託児は、実質的な運営を「ちょこっといずみ」に委ねており、区としては場所の提供にとどまっていることも課題です。

場所の提供が中心業務であれば庁舎の管理として、その主管課が管理し、子ども家庭支援課は、本来の子育て支援事業の充実を目指すべきです。

2 サークルのリーダー等を集めた研修会については、地域ケアプラザ、地区センター等の施設が無い地域もありますので、引き続き代表者の意見交換会を多く開催する必要があります。

また、各種サークルは地域ごとに開催されていますが、他地域と合同で開催するなどの工夫について、区としての支援、協力をお願いします。

3 子育て対象者にアンケート調査を実施するなど、地域における取組については地域に沿ったきめ細かい内容にする必要があります。

また、高齢者は子育て経験者です。元気な高齢者に地域の担い手となっていただく取り組みも必要です。

4 区民としても、子育てを行政に任せるのではなく、地域が中心で行う環境づくりを推進していく必要があります。

また、サロンやネットワーク、居場所づくりは行政の予算を必要としている部分もあります。区からの支援や協力をお願いします。

11 事業名：交通安全対策事業【地域振興課】	
予算額：2,616千円（前年度2,621千円）	事業開始年度：平成16年度
<p>【事業概要】</p> <p>交通安全関係機関、団体と連携を図り、交通ルール・マナーの普及を街頭啓発活動やキャンペーン活動を通じて行い、交通事故防止を目指します。</p>	
<p>【事業構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールゾーン対策事業（予算額：1,348千円） ・特別交通安全運動（予算額：708千円） ・子ども安全対策（予算額：339千円） ・その他事業費（予算額：221千円） 	
<p>【総合評価】</p> <p>交通事故発生件数は、年々減少傾向にありますが、それでも泉区において年間500件を超える事故が発生している状況です。</p> <p>交通安全対策については、泉区交通安全対策協議会に96団体が加入して対策が行われており、警察、区役所、区交通安全協会等による啓発活動やキャンペーン等が実施されています。</p> <p>こうした啓発が中心の事業においては、継続が重要であり、地域と行政が一体となって取り組んでいることは、良好な事業として評価できます。</p>	
<p>【提言・提案】</p> <p>1 運転者（自動車・バイク・自転車）、歩行者が交通ルールを守らないことや、マナーの悪さが多くの交通事故発生要因となっていると考えられます。</p> <p>このことから、交通安全対策の趣旨や啓発活動が地域や区民、運送関連事業者等に浸透していない可能性があります。泉区交通安全対策協議会の加入団体等においては、実施効果等を分析し、より一層効果の上がる施策を講ずる必要があります。</p> <p>また、最近、自転車における交通事故の報道が多く見受けられます。自転車の運転者は、たかが自転車という軽い気持ちで運転することが多く、「車両」という認識が低いように感じられます。自転車におけるマナーの啓発に努めるとともに、自転車保険への加入についても周知が必要です。</p> <p>2 高齢者の交通ルールへの関心を高める必要があります。高齢者は交通ルールをよく知っているにも関わらず、守らない人が多いように見受けられます。交通安全啓発に工夫をするなど、マナー向上に取り組む必要があります。</p> <p>3 現在、取り組んでいる安全・安心フェアも良い事業ですが、このほかに対象地域を小さくした交通安全講習会を多く実施するなど、検討を行ってください。</p>	

また、地域においては、啓発等と同じ人が参加することが多い状況があります。
区民一人ひとりが実感できるイベント等を検討し、参加者の拡大を目指してください。

- 4 スクールゾーン対策協議会については、防犯も視野に入れ、登校時だけでなく下校時においても、地域ぐるみで事件、事故防止に努める必要があります。

現在のスクールゾーン対策協議会の活動は、PTAや校外委員の登校時の見守り活動が中心です。下校時等、地域の生活時間帯における見守り活動の多くが、保護者ではなく地域中心の見守り活動となっている状況です。

下校時等の保護者への啓発についても検討してください。

12 事業名：素晴らしき1km想推進事業【区政推進課】

予算額：2,000千円（新規事業）

事業開始年度：平成25年度

【事業概要】

文化・公共施設が集積している泉区役所周辺の賑わいと魅力づくりの推進を目的として、一体的な魅力の発信と賑わい・魅力づくりに寄与する団体活動を支援する。

【事業構成】

- ・素晴らしき1km魅力発信事業（予算額：1,000千円）
- ・素晴らしき1km活動支援事業（予算額：1,000千円）

【総合評価】

新規事業のため、区民ニーズとの関連は分かりづらいが、地域課題としての必要性は感じられます。しかしながら、PRの手法が十分ではないと思われることから、現状では一部地域のものとなっており、地域格差について検討する必要があります。

現時点での評価は困難ですが、長期的に見守る必要があり、また、いろいろな課題を地域と共に解決することへの期待は持てますので、妥当な事業と評価できます。

【提言・提案】

- イベントカレンダーはホームページを利用して広報していますが、インターネットを利用していない人へのアプローチについて、連合自治会・各自治会町内会等の各種団体を通じた協力依頼を行う必要があります。
区役所周辺がにぎわい、利便性が向上することは、区民にとって良いことです。
初年度ということもありますが、区民に十分周知がされていないため、広報活動を工夫することで、多くの区民へアピールすることが必要です。
- 泉区の文化施設・公共施設が集積している場所のため、各種団体のイベント、憩いの場所として、事業計画の必要性は感じられます。
しかし、区役所周辺エリアの1km（半径0.5km）圏内の公共施設は区役所、公会堂、土木事務所、水道局サービスセンター、和泉遊水地、地蔵原水辺、テアトルフォンテであり、不特定多数の方が自由に利用できる施設は少ないという課題もあります。
周辺施設である水道局地域サービスセンター跡地の利用については、「いずみ歌舞伎」のような伝統文化を維持していくため、区民利用施設として活用を目指すほか、喫茶店サニー跡地の活用による区民参加型カフェ等、居場所の検討をお願いします。
- 200万円程度の予算が継続されるのであれば、一部地域の利用にとどまることなく、泉区全体へ素晴らしき1kmの魅力アップに係る投資効果が認知される必要があります。

地域ごとの交通機関の便、距離など、地域差がありますので、泉区全体へ波及する改善策を検討してください。

- 4 3団体へのイベント事業補助として70万円の予算がありますが、素晴らしき1kmの魅力づくりと、どのように結び付くのか理解しづらい部分があります。

「いずみ歌舞伎」は文化事業として、区民に広く知られており、泉区の伝統文化として長く維持していくため、行政としての支援が望まれます。

また、文化芸能活動に力を入れ、歌舞伎などの人材育成に向けた養成講座の開設を検討してください。

- 5 事業の一環として、地蔵原水辺も和泉川と一体的な景観として捉える必要があります。

そのためには和泉川の川底に小石が敷き詰められ、澄んだ水面に魚の泳ぐ姿が見られるなど、河川の景観整備が先決ではないかと考えられます。